

2023 年 11 月 15 日

各 位

SBI ホールディングス株式会社

UBS グループ AG

DBS Bank

**SBI グループ、UBS、及び DBS は世界初のパブリック  
ブロックチェーン上でのデジタル債券のクロスボーダー・レポ取引を実行**

～ シンガポール金融庁(MAS)主導のプロジェクトガーディアンの一環として行われた  
本取引によりクロスボーダーでの効率的な資本市場商品の流通と決済に向けた土台を構築 ～

SBI ホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役会長兼社長：北尾 吉孝、以下グループを総称して「SBI グループ」）、UBS グループ AG（本社：スイス チューリッヒ、CEO：セルジオ・P・エルモッティ、以下グループを総称して「UBS」）、および DBS Group（本社：シンガポール、CEO：Piyush Gupta、以下「DBS」）は世界で初めて、パブリックブロックチェーン上でネイティブに発行されたデジタル債券を用いたレポ取引を実行したことをお知らせいたします。

本取引では、日本、シンガポール、スイスという 3 つの異なる規制管轄区域に跨って、各国の規制を踏まえたデジタル決済トークンを使用し、エンティティ間において、レポ取引、デジタル債券の購入および償還を同時に、自動的に、そして即時に決済しました。

MAS 主導のプロジェクトガーディアンの一環として実施された本取引は、ブロックチェーン技術を活用することで、流動性管理を向上させつつ、資本市場商品のクロスボーダーでの流通・決済を、極めて柔軟かつ効率的に実行できることを示しています。

また本取引では、ブロックチェーン上で発行された日本円建てのデジタル債券とトークン化された日本円ステーブルコインとの間でレポ取引\*が行われ、レポ取引に際して借り入れた日本円トークンは、デジタル債券の購入にも使用されました。また、デジタル債券の償還及びそれに伴う元本と利息の支払いもブロックチェーン上で実行され、パブリックブロックチェーンを用いて取引のライフサイクル全体をカバーできる潜在能力を示しました。

UBS のグループ・チーフ・オペレーションズ・アンド・テクノロジー・オフィサーのマイク・ダーガンは「この画期的な取引により、パブリック DLT ネットワークを利用して、厳格なコンプライアンスフレームワークの下で、複数の管轄地域を跨いで、完全に自動化された即時決済取引の実行可能性を証明しました。また UBS Tokenize サービスの柔軟性により、本取引のパートナー各社は、当社の革新的な製品フレームワークとテクノロジーの能力を、自社のインフラストラクチャとトランザクションのニーズに容易に適応し、活用することができました。」と述べています。

SBI グループにおいてプロジェクトガーディアンに関連するイニシアティブを管轄する、SBI デジタルアセットホールディングス（以下、「SBI DAH」）の CEO であるフェルナンド・ルイス・バスケス・カオは「SBI DAH では、機関投資家が利用できるレベルのデジタルアセットエコシステムの構築及びその商業化に向けて準備を行っています。今回の画期的な取引は日本およびクロスボーダーで、市場とクライアントに革新的で効率的な製品とサービスを提供することの可能性を示すものです。また、SBI DAH がレポ取引の相手方を務めた SBI 証券や日本円ステーブルコインの発行元である新生信託銀行などの SBI グループの各企業と綿密に連携しつつ、大手国際金融機関との強力なパートナーシップを発揮した実例です。」と述べています。

この取引は、金融市場にとって、コンプライアンスとセキュリティ要件を確保しつつ、24 時間 365 日リアルタイムの決済、運用と資本の効率化といったメリットを実証しました。

なおプロジェクトガーディアンの一環として、UBS アセット・マネジメントは 2023 年に、Ethereum ネットワークのパーミッションド環境において、変動資本金会社（Variable Capital Company：VCC）によるトークン化されたファンドの発行、流通のための技術実証実験を SBI Digital Markets と共同で完了しています。その実証は、UBS のグローバルな DLT 戦略の一環であり、ファンドの発行、流通のためにパブリック/プライベート双方のブロックチェーンネットワークを活用することを目指しています。また、UBS Tokenize を通じて UBS が提供するトークン化サービスの拡大にもつながっています。

SBI グループにとって、本取引とプロジェクトガーディアンへの広範な参加は、SBI 証券においては、セキュリティ・トークン（ST）をはじめとするデジタル証券や、今後のステーブルコインの活用事例として商品開発の布石となり、新生信託銀行においては、本邦でのステーブルコイン発行事例として今後の広範な商品開発への足掛かりとなりました。また、SBI Digital Markets、Asia Next、SBI Zodia Custody 等を含む SBI デジタルアセットホールディングスによる機関投資家向けデジタルアセットインフラの生態系構築にもつながると考えています。SBI DAH は、SBI 証券、新生信託銀行などのライセンスを持つ SBI グループ企業と密接な連携を行い、デジタルソリューションの商用化に向けて尽力いたします。

\*レポ取引とは、一方の当事者が有価証券を現金で他の当事者に売却し、売り手が将来的に高い価格で同じ有価証券を買い手から買い戻すことに同意する短期間の借入の形態です。これにより、売り手は有価証券を担保として現金を借り入れることになり、買戻しは借入の返済であり、高い価格は利子率を反映しています。

## 【UBS について】

UBS は真にグローバルなウェルス・マネジメントのリーダーであり、スイス国内有数のユニバーサル・バンクです。アセット・マネージャーとして多岐な運用ソリューションを提供し、また、専門的な証券事業を擁しています。クレディ・スイス買収を経て、2023 年第 2 四半期現在の投資預かり資産は 5.5 兆米ドルに上ります。UBS は、お客様に個別に提供される投資アドバイスやソリューション、投資商品を通じて、お客様が投資目標を達成するためのサポートをしています。スイスのチューリッヒに本拠を置く UBS は、世界の主要金融センターを含む 50 以上の市場で事業を展開しています。UBS グループ AG の株式はスイスおよびニューヨークの各証券取引所に上場されています。

【DBS について】

DBS は 19 の市場で事業を展開する、アジアの大手金融サービス・グループです。シンガポールに本社を置き、上場している DBS は、アジアの成長における 3 つの主軸となる中華圏、東南アジア、南アジアに位置しています。信用格付けは世界最高水準となる、“AA-”と“Aa1”です。

DBS はグローバル・ファイナンス誌の「ワールド・ベスト・バンク」、ユーロマネー誌の「ワールド・ベスト・バンク」、ザ・バンカー誌の「グローバル・バンク・オブ・ザ・イヤー」に選ばれるなど、そのグローバル・リーダーシップが高く評価されています。また、ユーロマネー誌から「世界最高のデジタル・バンク」、ザ・バンカー誌から「デジタル・バンキングにおける最も革新的な銀行」に選ばれるなど、銀行の未来を形作るデジタル技術の活用において最先端を走っています。また、DBS はグローバル・ファイナンス社から 2009 年から 2023 年まで 15 年連続で「アジアで最も安全な銀行」賞を受賞しています。DBS は消費者金融、中小企業金融、法人金融といったあらゆるサービスを提供しています。アジアで生まれ育った銀行として、DBS はアジアの最もダイナミックな市場でのビジネスの複雑さを理解しています。

以上

\*\*\*\*\*

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

SBI デジタルアセットホールディングス株式会社 [contact@sbidah.com](mailto:contact@sbidah.com)

UBS 証券株式会社 広報部 [sh-ubs-japan-media-relations@ubs.com](mailto:sh-ubs-japan-media-relations@ubs.com)